

郵便  
報知新聞  
便 錦馬第五号

明治五年五月七日夜郵便使配達人矢野半  
 の曾根岩村辺睡りつゝの折柄箱先不明の  
 手紙ある故同村事發所へ問合せしに  
 治之の妻目良山田東三立で見し是の  
 我が方より届けつゝまゝと云ふ否  
 当局の御規則より預けが  
 否是非あつて強情ふ意地を  
 取上棄人勢ひみ半七ハマヤ合は  
 振致して立ち上るゝ敵言察か大の  
 目まを給と如何あり所業と尋られ  
 何分酌可の上忍入ト申而巳夫事發  
 會議小宿直を置くハ非常便利の  
 爲るに此様を人々を置ぬ  
 却つて便利多くと各區長さん  
 註意をハイおのく申拜



錦馬  
 第五号

